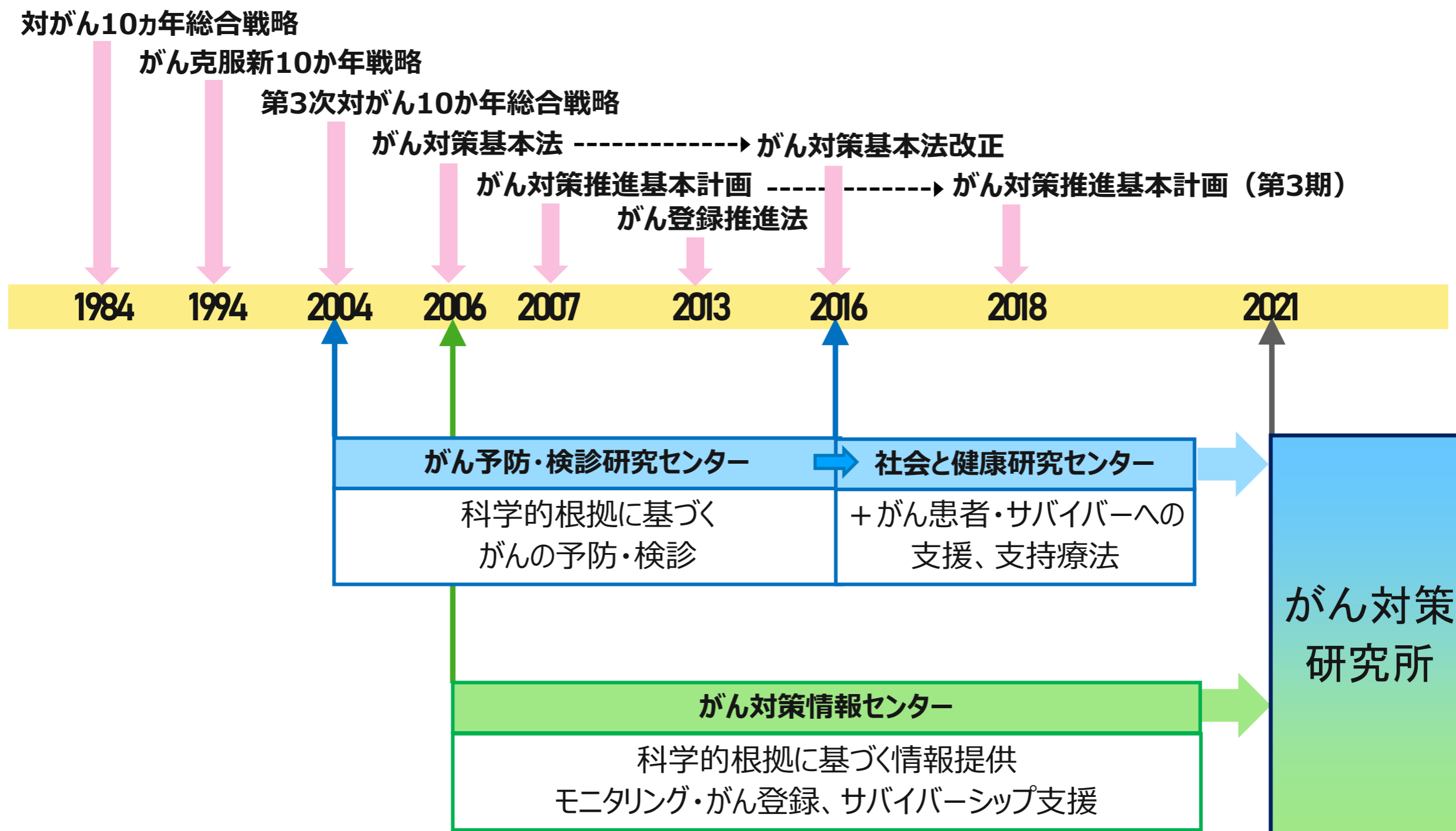


がん対策研究所



国立がん研究センター
がん対策研究所
National Cancer Center
Institute for Cancer Control

国立がん研究センターにおける 社会医学分野の組織の変遷



なぜ今、組織統合するのか

今後の社会医学系の研究・事業に求められるもの

- ・健康長寿を実現するための疾患横断的なアプローチ
- ・ゲノム情報を用いた個別化予防の推進
- ・健康長寿国のフロントランナーとしての国際研究力・国際貢献
- ・国民のがん対策・情報ニーズの高度化・多様化への対応
- ・患者・市民参画による、より実効性のある研究立案・政策提言
- ・政府のE B P M（Evidence-Based Policy Making, 証拠に基づく政策立案）への積極的な関与



N C C の社会医学系の専門家（疫学、行動科学、サバイバーシップ、医療経済評価、情報発信、国際保健等）の力を結集し、エビデンスの創出から政策実装までを一貫して実施できる組織体制が必要

がん対策研究所の理念・使命

【理念】

すべての人が、健康と尊厳をもって暮らせる社会を実現する

【使命】

社会と協働して、エビデンスを創り、がん対策につなげ、すべての人に届ける

創る ⇒ 世界を変える新たな科学的知見を創る

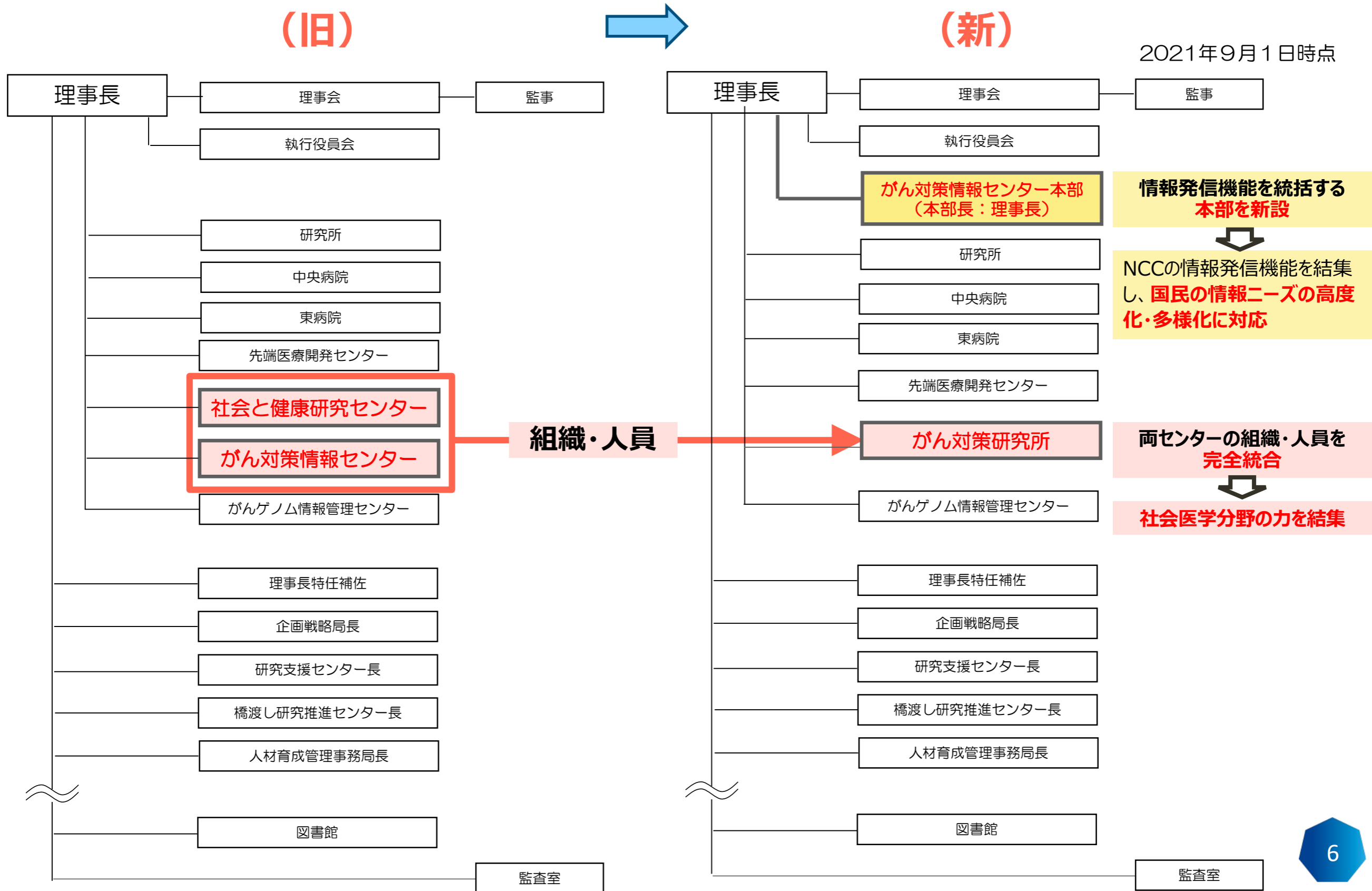
つなげる ⇒ 社会のニーズに応え、科学的知見を結集し、がん対策につなげる

届ける ⇒ すべての人に確かな情報を届け、がん対策の実装とその支援を行う

がん対策研究所の行動方針

- 日本及び世界のがん対策に積極的に関与します
- 社会のニーズを的確に捉え、迅速かつ適切な情報発信・政策提言につなげます
- 各研究者の専門性を活かして連携することにより、活動成果を最大化します
- 自らの活動に対して、新陳代謝を意識し、新たな課題に機動的に取り組めます
- 高い専門性と俯瞰的な視野を兼ね備えた公衆衛生人材を育成します

組織見直しのポイント



がん情報サービスの運営

がん対策研究所がん情報提供部

- ①がん情報編集委員会 企画
- ②エビデンスの収集・精査
- ↓
- ③原稿案の作成・著作権確認
- ④がん情報編集委員会 原稿確認
- ↓
- ⑤専門家・患者などによる査読
- ↓
- ⑥がん情報編集委員会 最終確認

情報コンテンツ案の
提供



掲載後の報告

がん対策情報センター本部

国民の情報ニーズの高度化・多様化に対応するため、NCCの情報発信機能を結集

- ①NCC各部門が発信する最新の情報コンテンツの把握。
- ②NCCとして作成すべき新規情報コンテンツの検討。

本部長：理事長

メンバー：各部門^{*}の情報発信の責任者

^{*}研究所、先端医療開発センター、中央病院、東病院、がん対策研究所、がんゲノム情報管理センター、企画戦略局 など

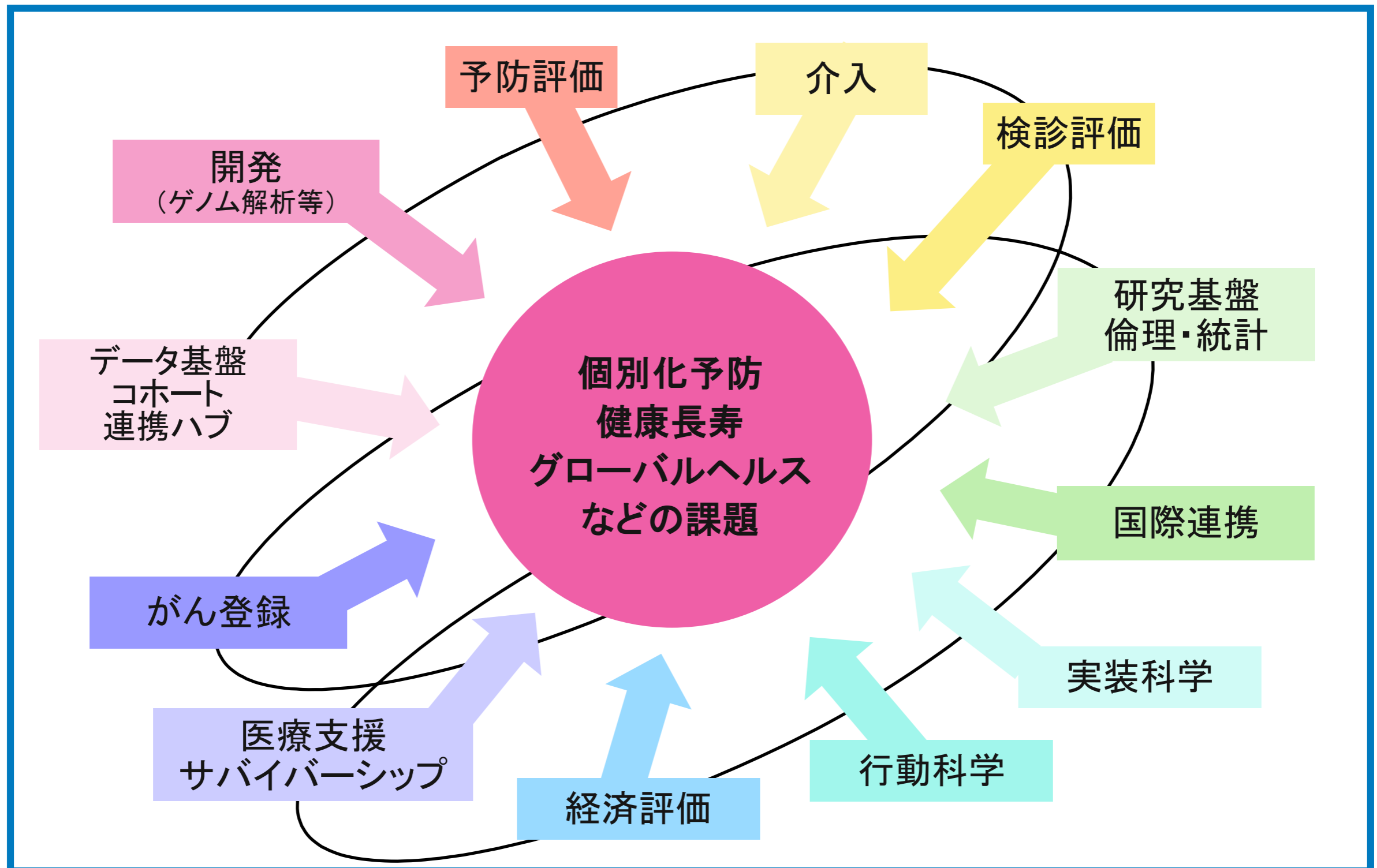
事務局：がん対策研究所 がん情報提供部

関連学会

患者会

医療関係者

組織横断的プロジェクト（概念図）



社会医学分野の力を結集し課題解決

組織横断的プロジェクトの企画・運営・評価

社会のニーズを的確に捉える

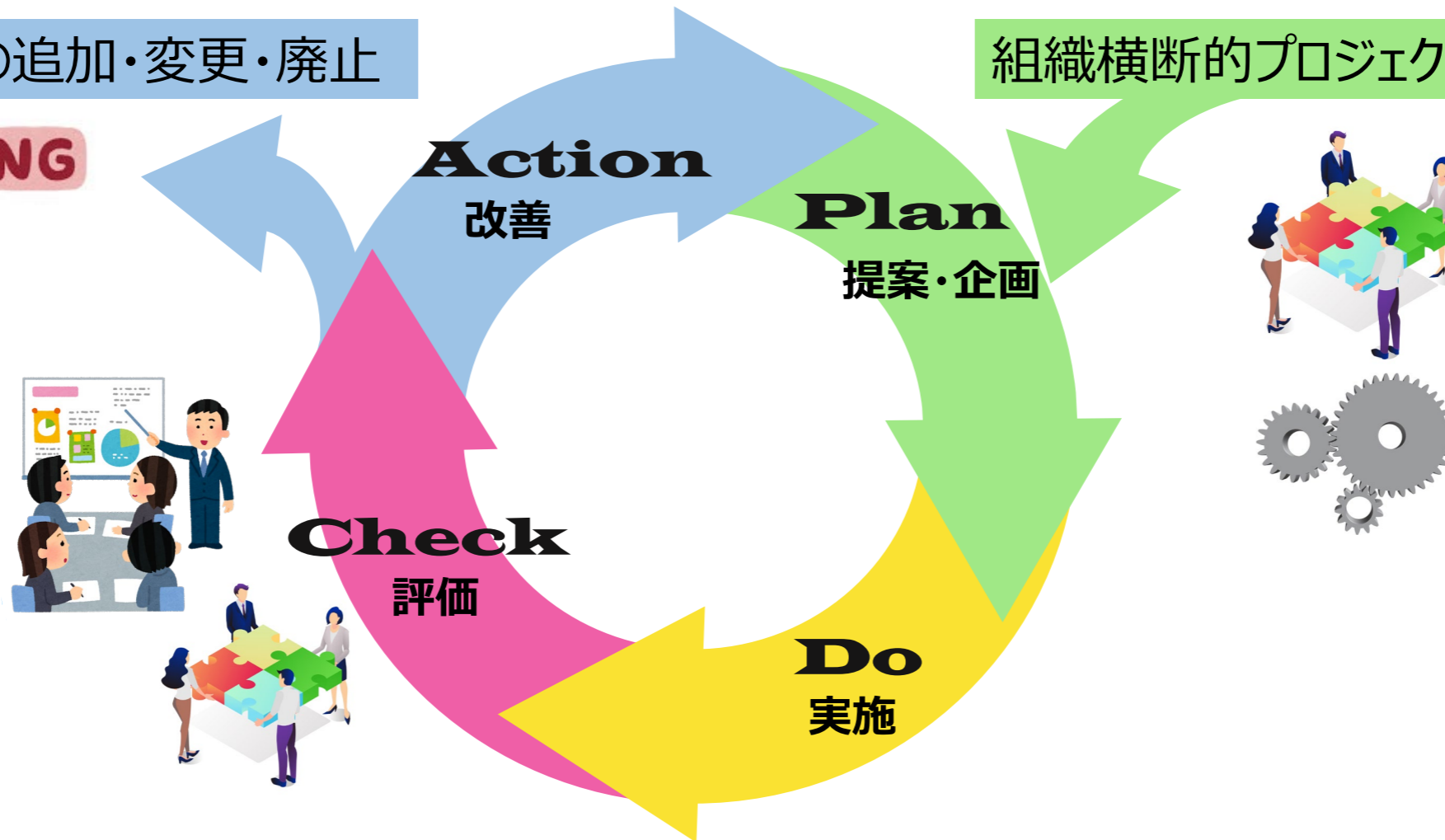


政策課題
患者・市民の声
⋮

プロジェクトの追加・変更・廃止

OK NG

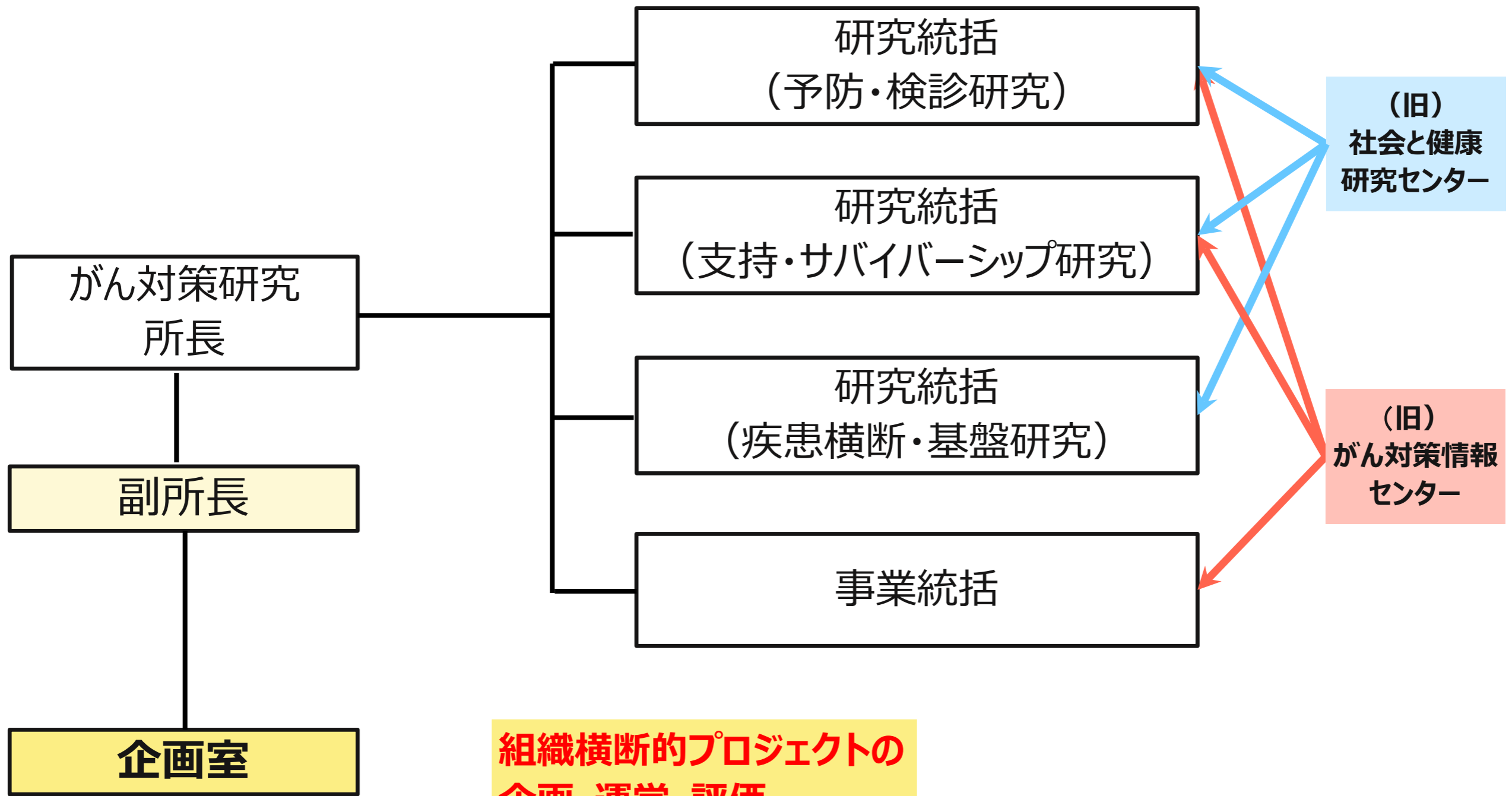
組織横断的プロジェクトの立ち上げ



成果の発信、社会還元、政策への提言



組織横断的プロジェクトを担う企画室の設置



(中堅・若手メンバーを中心に構成)

組織横断的プロジェクトの
企画・運営・評価

参考資料

がん対策情報センターの概要

正しい情報に基づいて、国民のためのがん対策推進を支援する。

1. 全国がん登録・院内がん登録の運用と活用
2. わが国のがん情報提供とがん相談支援体制の構築
3. 全国のがん医療ネットワークのハブ機能の構築
4. エビデンスに基づくがん対策の立案と評価の推進



社会と健康研究センターの概要

科学的根拠に基づくがんの予防、早期発見（検診）、サバイバルケアを推進し、**健康寿命の延伸に資する研究**を実施

がんにならない
ための研究

がんを早く見つける
ための研究

がんと共により良く生きる
ための研究

医学・公衆衛生研究を支える基盤的な研究：
生物統計、研究デザイン・方法論、研究倫理、生命倫理、医療経済、医療技術評価



がん対策研究所の組織図

